

## 第 1 節 母子保健

### 1 母子保健対策

表 1 管内市町別母子保健対策

(平成 28 年度)

		かほく市	白山市	野々市市	津幡町	内灘町
妊娠届	窓 口	ほのぼの健康館	健康センター松任、鶴来保健センター	健康推進課 (保健センター内)	健康こども課	保健センター
	保 健 指 導 の 実 施 等	パンフレット配布、アンケート実施、保健師・栄養士が面接	パンフレット配布、アンケート実施、保健師が面接	パンフレット配布、アンケート実施、保健師・栄養士が面接	パンフレット配布、アンケート実施 保健師・栄養士が面接	パンフレット配布、アンケート実施、保健師が面接
妊婦教室 両親学級		○	○	○	○	○
妊産婦訪問		面接等で把握したハイリスク妊婦や医療連携のあったケース、産婦全数	若年・高齢初産婦多胎妊婦、その他のハイリスク妊婦、産婦全数	若年・高齢初産婦、多胎妊婦、その他のハイリスク妊婦、産婦全数	面接等で把握したハイリスク妊婦や医療連携のあったケース、産婦全数	面接等で把握したハイリスク妊婦や医療連携のあったケース、産婦全数
出生届	窓 口	市民課、七塚・高松サビセンター	市民課	市民課	町民課	住民課
	保 健 指 導 の 実 施 等	母子健康手帳の情報もらう		母子保健事業のチラシを配布(必要時保健センターへ)	母子保健制度を説明(健康こども課にて)	新生児訪問実施案内を配布
新 生 児 訪 問		全数訪問	全数訪問	全数訪問	全数訪問	全数訪問
母 子 管 理 カ ー ド 作 成 時 期		妊娠届出時	妊娠届出時	妊娠届出時	出生届出時	出生届出時
乳 幼 児 健 診 ・ 相 談 *1	1～2ヶ月	●(～3ヶ月未満)	●(～3ヶ月未満)	●(～3ヶ月以内)	●(～3ヶ月未満)	●(～3ヶ月以内)
	3ヶ月					
	4ヶ月	◎	◎	◎	◎	◎
	5ヶ月					○
	6ヶ月	○				
	7ヶ月		○	○	○	
	8ヶ月					
	9ヶ月	●(9～11ヶ月)			●(9～11ヶ月)	●(9～11ヶ月)
	10ヶ月	○	○	○		
	11ヶ月		●(9～13ヶ月以内)	●(11～12ヶ月以内)		
	12ヶ月					
	1歳6ヶ月	◎	◎	◎	◎	◎
2歳	○	○		○		
3歳	◎	◎	◎	◎	◎	
5歳	-	-	-	-	◎	

\*1 ◎は健診、○は相談、●は医療機関委託健診



## 2 相談・訪問指導

表2 対象別相談訪問指導状況

(平成28年度)

区分			妊産婦		新生児 (未熟児除く)		未熟児		乳児 (新生児・未熟児除く)		幼児		その他		計	
			実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延
石川 中央	相談	来所	147	237	0	0	0	0	2	2	1	10	387	757	537	1,006
		電話	282	1,021	0	0	0	0	1	2	1	37	137	363	421	1,423
	訪問指導	8	10	1	1	0	0	2	2	0	0	3	7	14	20	
河北 地域 センター	相談	来所											122	170	122	170
		電話											50	124	50	124

平成24年度より、訪問業務等を石川中央保健福祉センター（本所）に集約

## 3 健やか妊娠育児支援強化事業

多胎妊娠や若年妊娠等のハイリスク妊娠に対して、市町及び医療機関、保健福祉センターが連携により、妊娠の早期から出産後の育児に至る経過を支援することにより、保護者の育児不安の軽減と子どもの健やかな成長を促すことを目的とする。

表3-1 多胎妊婦教室

(平成28年度)

事業名	日時及び会場	対象	内容	従事者	参加者延数
二人っ子・三人っ子のママのつどい (年3回)	平成28年7月12日(火) 平成29年2月21日(火) 白山市子育て支援センター げんきっこ  平成28年10月17日(月) 野々市子育て支援 センター菅原	白山市・野々市 町在住の多胎妊 婦	講話 「多胎妊娠中の過ごし方 等について」 座談会、先輩ママとの交流 実技「腹帯の着脱等」 子育て支援センター内見学	保健所保健師 市町保健師 助産師 子育て支援センター所長	妊婦 4人 乳幼児 2人 ピアサポーター2人

表3-2 多胎児育児支援教室

(平成28年度)

事業名	日時及び会場	対象	内容	従事者	参加者延数
二人っ子・三人っ子のママのつどい (年3回)	平成28年7月11日(月) かほく市子育て支援センター  平成28年9月21日(水) 津幡町児童センター  平成29年2月13日(月) 内灘町保健センター	かほく市、津幡 町、内灘町在住 の多胎妊婦及び 3歳未満の多胎 児とその保護者	講話・座談会 「妊娠中の過ごし方・多胎 児の育児等」	保健所保健師 市町保健師等 助産師 母子保健推進 員・保育ママ 保育士 子育て支援センター職員	妊婦 2人 産婦 9人 乳幼児 16人 ピアサポーター1人

表3-3 ハイリスク妊産婦保健医療連携事業 紹介経路別妊娠週数

(平成28年度)

紹介経路		20週未満	20～23週	24～27週	28～31週	32～35週	36週～	産婦	計
石川中央	市 町	18	1	0	1	1	0	32	53
	その他							1	1
	医療機関	15	4	7	4	6	2	225	263
計		33	5	7	5	7	2	258	317

表3-4 ハイリスク妊産婦保健医療連携事業 リスク要因別件数 (複数計上あり) (平成28年度)

		リスク要因	妊婦	産婦	計
石川中央	多胎	双子	17	12	29
		三つ子以上	1	1	2
	若年	15歳以下			
		15～19歳	8	14	22
	高齢	35歳以上	0	7	7
		40歳以上	1	4	5
	未婚		13	15	28
	母の身体的疾病		6	16	22
	母の精神的疾病		10	23	33
	産婦一般健診でEPDS高得点			130	130
	その他(育児不安等)		27	164	191
計		83	386	469	

表3-5 未熟児等母乳哺育支援事業実施数 リスク要因別 (平成28年度)

		リスク要因	実人員	実施回数
石川中央		未熟児	5	9
		多胎児	1	2
		ハイリスク産婦	20	31
		その他	8	13
計		34	55	

#### 4 母親のメンタルヘルス支援事業

母親の育児不安や産後うつ病等の状況を早期に捉えて、市町及び医療機関、保健福祉センターが連携により支援するとともに、妊産婦の心のケアが実施できる体制を整備し、親と子の健やかな成長を促すことを目的とする。

表4-1 産婦一般健康診査におけるEPDS実施状況 (平成28年度)

	管内計	かほく市	白山市	野々市市	津幡町	内灘町
産後1ヶ月健診受診者数:a	2,080	244	793	578	285	180
EPDS実施者数:b	2,080	244	793	578	285	180
率 (b/a*100)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
EPDS9点以上者数:c	197	20	87	57	21	12
率 (c/b*100)	9.5	8.2	11.0	9.9	7.4	6.7

表4-2 要支援者の把握経路及び支援状況 (平成28年度)

	管内計	かほく市	白山市	野々市市	津幡町	内灘町	石川中央保健福祉センター
要支援対象者数	451	35	107	92	12	36	169
支援実人数	451	35	107	92	12	36	169
市町・保健福祉センターのみでの支援	450	35	107	92	12	35	169
他機関に紹介	1	-	-	-	-	1	-

表4-3 母子保健支援事例検討会開催状況 (市町主催) (平成28年度)

	管内	かほく市	白山市	野々市市	津幡町	内灘町
開催回数	68	12	23	8	13	12

※個別事例検討会を含む

## 5 講演会・連絡会等

講演会や連絡会等を開催することによって、管内の連携体制の構築を図ることを目的とする。

表5-1 連絡会・検討会

事業内容	実施月日 開催場所	参集者	目的	会議内容	出席 人数
母子保健 担当者連絡会	平成28年12月2日 石川県庁行政庁舎 8階 811会議室	市町、保健所	母子保健対策の現状と課題を共有し、事業の効率的・効率的推進を図ることを目的とする。特に、発達や発育、育児支援について焦点を当てる。	<p>発達が遅れている児に対し、母子保健としてのかかわりを考える</p> <p>(1) 講義「発達障害児を持つ親の聞き取り調査から」 講師：県発達障害支援センター 主幹 北野浩子氏</p> <p>(2) 情報交換 ・発達障害を疑った場合の支援の方法（精検時期、教室、支援機関等） ・母子保健のケース支援について（ケースの進行管理、ケース会議の方法等）</p> <p>(3) 話題提供「石川県立盲学校のご紹介」 石川県立盲学校 教育相談担当 楠樹里氏</p>	17人